

(薬局用)

令和6年度ジェネリック医薬品に関する薬局アンケート調査票

《令和6年8月30日(金)までにご回答ください》



「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」(平成25年4月5日、厚生労働省)に基づき、患者負担の軽減や医療費の健全化(医療保険財政の改善)を図るため、国や県においてはジェネリック医薬品(後発医薬品)の使用促進を図っており、その施策の参考とするためアンケート調査を実施します。ご多忙のところ誠に恐縮でございますが、アンケートへのご協力をお願いします。

なお、調査結果は今後の施策における検討資料とするほか、必要に応じて関係者、県民等に公表する予定としています(集計結果の公表のみであり、医療機関の個別の情報は公表いたしませんので、忌憚の無いご意見等をお願いします)。

問1. あなたの薬局の所在する市町はどちらですか。(単一選択式)

【所在地】

1. 長崎市 2. 佐世保市 3. 島原市 4. 諫早市 5. 大村市 6. 平戸市
7. 松浦市 8. 対馬市 9. 壱岐市 10. 五島市 11. 西海市 12. 雲仙市
13. 南島原市 14. 長与町 15. 時津町 16. 東彼杵町 17. 川棚町 18. 波佐見町
19. 小値賀町 20. 佐々町 21. 新上五島町

問2. あなたの薬局の後発医薬品調剤体制加算(令和6年5月時点)の有無について教えてください。(単一選択式)

1. 後発医薬品調剤体制加算3(後発医薬品の調剤数量が90%以上)
2. 後発医薬品調剤体制加算2(後発医薬品の調剤数量が85%以上)
3. 後発医薬品調剤体制加算1(後発医薬品の調剤数量が80%以上)
4. 後発医薬品調剤体制加算なし
5. 対象外

問3. 令和6年5月現在、あなたの薬局における先発医薬品とジェネリック医薬品の備蓄状況(品目数)についてお答えください。(記入式)

	内 服	注 射	外 用
先発医薬品	品目	品目	品目
ジェネリック医薬品	品目	品目	品目

(薬局用)

問4. あなたの薬局が処方せんを受けている医療機関の主な診療科目は次のうちどれですか。(複数選択式)

1. 内科 2. 神経内科 3. 呼吸器科 4. 消化器科 5. 循環器科 6. 血液内科
7. リウマチ科 8. 小児科 9. 外科 10. 呼吸器外科 11. 整形外科 12. 形成外科
13. 脳神経外科 14. 皮膚科 15. 泌尿器科 16. 産婦人科 17. 眼科 18. 耳鼻咽喉科
19. 精神科・神経科 20. 放射線科 21. 麻酔科 22. 歯科
23. その他()

問5. これまでに、あなたの薬局で一般名が記載された処方せんを受けたことがありますか。(単一選択式)

1. ある
2. ない

問6. あなたの薬局が令和6年5月(1か月間)に応需した処方せんのうち、「ジェネリック医薬品への変更不可」の処方せん割合は何%ですか。(記入式)

令和6年5月における「変更不可処方せんの割合」*…()%

*「変更不可処方せん割合」= (変更不可処方せんの枚数) / (全処方せん枚数)

問7. 一般名が記載された処方せんを応需して、先発医薬品とジェネリック医薬品の両方の在庫がある場合、あなたの薬局では、ジェネリック医薬品の使用について、患者さんに対しどのように説明していますか。(単一選択式)

1. ジェネリック医薬品の使用を積極的に勧めている
2. ジェネリック医薬品の使用についてあまり積極的には勧めていない
3. その他()

問8. 令和6年5月(1か月間)に応需した処方せんのうち、患者さんがジェネリック医薬品を希望した場合のあなたの薬局における対応について、最も多い項目は何ですか。(単一選択式)

1. 備蓄しているジェネリック医薬品に変更して調剤した
2. 必要なジェネリック医薬品の備蓄がなかったため、直ちに手配して調剤した
3. 処方せんに記載されている医薬品を調剤した

(薬局用)

問9. あなたの薬局がジェネリック医薬品を選ぶ際に重視している事項は何ですか。(複数選択式)

1. 医療用医薬品品質情報集(オレンジブック)に収載されている
2. 安定性、生物学的同等性、添加物等のデータが揃っている
3. 適応症が全く同じであること
4. 剤形等の付加価値がある
5. 取引のある医薬品卸で取り扱いがあること
6. 入手、納品に要する時間が短いこと
7. 安定供給の保障
8. 小包装品があること
9. メーカーによる情報提供、情報収集の体制があること
10. メーカーの規模、知名度
11. 薬価が安い医薬品であること(患者負担の軽減)
12. 大学病院や近隣の基幹病院等での採用実績があること
13. その他()

問10. あなたの薬局がジェネリック医薬品を選ぶ際に、本県ホームページに掲載している県内主要医療機関のジェネリック医薬品採用品目リストを参考にしていますか?(単一選択式)

(URL: <https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/iyakuhin/generic/>)

1. 参考にしている
2. 参考にしていない
3. 掲載していることを知らない
4. その他()

問11. あなたの薬局がジェネリック医薬品を選ぶ際に、国の「後発医薬品品質確保対策事業」検査結果報告書を参考にしていますか?(単一選択式)

(URL: https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryoku/kouhatu-iyaku/index.html)

国(厚生労働省)では、平成20年度から市場に流通する後発医薬品を対象に溶出試験等の品質検査を実施し、その検査結果を公表しています。

1. 参考にしている
2. 参考にしていない
3. 掲載していることを知らない
4. その他()

(薬局用)

問 12. あなたの薬局で、ジェネリック医薬品に変更されなかった患者さんの理由として、次のうちどれに該当するものが最も多いと思いますか。(単一選択式)

1. 普段から使い慣れている薬の方が良いから
2. 効果が同じであるか不安だから
3. 一部負担金あまり変わらないから
4. 医師の処方どおりの薬が良いから
5. 一度ジェネリック医薬品を使用した後、再度、先発医薬品に戻した
6. その他()

問 13. 今後、一般名処方が普及していくことについてどのようにお考えですか。(単一選択式)

1. 賛成
2. 反対
3. どちらとも言えない(理由:)

問 14. これまでに、あなたの薬局でジェネリック医薬品への変更を患者さんに勧めた際、問題になったことはありますか。(単一選択式)

1. ある(→問 15 へ)
2. ない(→問 16 へ)
3. 不明(→問 16 へ)

問 15. 《問 14 で「1. ある」と回答した薬局》

患者さんとのトラブルのうち、代表的な事例について教えてください。(記入式)

問 16. ジェネリック医薬品には、剤形のサイズや味などに工夫がされ、患者さんが服用しやすいものがあります。ジェネリック医薬品に切り替えて、患者さんの服薬状況が良くなった、効果が良くなった等の事例があればお答えください。(自由記載)

(薬局用)

問 17. ジェネリック医薬品を使用することに関して、不安感がありますか？(単一選択式)

1. ある(→問 18 へ) 2. どちらともいえない(→問 18 へ) 3. ない(→問 19 へ)

問 18. 《問 17 で「1. ある」, 「2. どちらともいえない」と回答した薬局》

不安感を抱えている内容についてお答えください。(複数選択式)

1. ジェネリック医薬品の効果の問題
2. ジェネリック医薬品の安全性の問題
3. ジェネリック医薬品の品質の問題
4. ジェネリック医薬品の供給体制の問題
5. メーカーの情報提供体制の問題
6. その他()

問 19. 2020 年以降、複数の医薬品製造メーカーが起こした不祥事案に端を発し、後発医薬品における製品供給体制が不安定になりました。あなたの薬局で採用している後発医薬品の「令和 5 年 5 月(約 1 年前)」及び「現在」の納入状況についてお答えください。(単一選択式)

(令和 5 年 5 月(約 1 年前)の納入状況)

1. 希望した後発医薬品が発注数通りに納品された
2. 希望した発注数通りではないが、調剤業務に影響が出ない範囲で納入された
3. 納品が滞り、調剤業務に影響があった
4. 発注ができない場合があった

(現在の納入状況)

1. 希望した後発医薬品が発注数通りに納品されている(→問 21 へ)
2. 希望した発注数通りではないが、調剤業務に影響が出ない範囲で納入されている(→問 21 へ)
3. 納品が滞り、調剤業務に影響がある(→問 20 へ)
4. 発注ができない場合がある(→問 20 へ)

問 20. 《問 19 で「3. 納品が滞り、調剤業務に影響がある」, 「4. 発注ができない場合がある」と回答した薬局》医薬品の変更に対する患者さんの反応をすべて選んでください(複数選択式)

1. 対象品目が入手できない旨を説明し患者さんは納得された
2. 対象品目が入手できない旨を説明したが患者さんは納得されなかった
3. 変更については納得されたが、負担金が変わることに不満を訴えた
4. 変更については納得されたが、製品が変わることに不安を持たれた
5. 先発医薬品に変更することに同意された
6. 後発医薬品の使用を推進した薬剤師に対する不信感を訴えられた
7. 後発医薬品の使用を推進することに対する不信感を訴えられた

(薬局用)

問 21. あなたの薬局では、ジェネリック医薬品を積極的に使用していきたいと考えていますか。(単一選択式)

1. すでに積極的に使用している(→問 23 へ)
2. 積極的に使用したいが、思うように進まない(→問 22 へ)
3. 現状のままでよい(理由:) (→問 23 へ)
4. その他() (→問 23 へ)

問 22. 《問 21 で「2. 積極的に使用したいが、思うように進まない。」と回答した薬局》ジェネリック医薬品の使用促進にあたって、思うように進まない最も大きな理由は何ですか。(単一選択式)

1. 備蓄医薬品が増加する
2. デッドストックが増加する
3. 情報提供や疑義照会にかかる手間や時間が増加する
4. ジェネリック医薬品の安定供給に不満がある
5. 医薬品メーカーからの情報提供に不満がある
6. 患者さんが先発医薬品を希望する
7. 処方箋に後発品への変更不可の指示がある
8. 特になし
9. その他()

問 23. バイオシミラー(バイオ後続品)という言葉を知っていますか。(単一選択式)

1. 知っている
2. 知らない

問 24. あなたの薬局では、バイオシミラー(バイオ後続品)を採用していますか。(単一選択式)

1. 採用している
2. 採用を検討中
3. 採用していない

問 25. バイオシミラー(バイオ後続品)の使用促進にあたり、どのような課題があると思いますか。(複数選択可)

1. バイオシミラーに対する医師・歯科医師の不安
2. バイオシミラーに対する薬剤師の不安
3. 安定供給の不安
4. 患者さん、患者家族等の納得を得るのが難しい
5. 適応症の不一致
6. 診療ガイドライン等でまだバイオシミラーが載っていない
7. 臨床試験データ、品質情報の不足
8. レジメン管理の煩雑さ
9. 公費負担制度による患者自己負担額の逆転現象がある
10. その他()

(薬局用)

問 26. バイオシミラーの普及促進のために必要なことは何だと思いますか。(複数選択式)

1. 医師・歯科医師の理解
2. 薬剤師の理解
3. 医療機関及び薬局の理解
4. 患者さん、患者家族の理解
5. 医療機関、薬局に対するインセンティブ
6. その他()

問 27. 地域フォーミュラリという言葉を知っていますか。(単一選択式)

1. よく知っている
2. 少し知っている
3. 聞いたことはあるがよくわからない
4. まったく知らない、聞いたことがない

(地域フォーミュラリの補足説明)

「医療機関等において医学的妥当性や経済性等を踏まえて作成された医薬品の使用方針」を意味するものとして用いられています。

問 28. 地域フォーミュラリがあると助かると思いますか。(単一選択式)

1. 助かる
2. どちらともいえない
3. 必要ない
4. わからない

問 29. あなたの薬局では、患者さんがジェネリック医薬品を頼みやすくなるような工夫をされていますか。(複数選択式)

1. 受付窓口で「ジェネリック医薬品希望カード」を用意している
2. 普及啓発用のポスターや説明板等を掲示している
3. 普及啓発用のリーフレット等を用意し、患者さんが入手しやすいようにしている
4. 相談窓口を設けたり、説明担当の薬剤師等を配置したりしている
5. ジェネリック医薬品に関するビデオ等を流している
6. 問診時等に患者さんの意向を尋ねるようにしている
7. 特に工夫していない
8. その他(具体的に)

(薬局用)

問 30. 本県では定期的(年1、2回程度)に有識者を招いて医療従事者向けのジェネリック医薬品に関する研修会(参加費無料)を開催しています。希望する研修の内容についてお答えください。(複数選択式)

- | | | |
|--------------------|----------------------|------------|
| 1. 国の審査制度に関する事 | 2. 効果に関する事 | 3. 品質に関する事 |
| 4. 安全性に関する事 | 5. 製剤(添加物、溶解性等)に関する事 | |
| 6. バイオシミラーに関する事 | 7. 地域フォーミュラリに関する事 | |
| 8. 他医療機関の取組み等に関する事 | | |
| 9. その他(| |) |

問 31. ジェネリック医薬品の利用に関して、行政(厚生労働省、長崎県福祉保健部薬務行政室)に対し要望することがあれば、該当するものを2つ以内で選んでください。(2つ選択)

- | | |
|--|---|
| 1. ジェネリック医薬品が市場に流通するまでの審査の仕組みについての周知 | |
| 2. 医療関係者へのジェネリック医薬品に関する情報の提供(研修会の開催など) | |
| 3. 患者さんへのジェネリック医薬品に関する情報の提供 | |
| 4. 品質の高いジェネリック医薬品とするためのメーカーへの指導 | |
| 5. ジェネリック医薬品を安定的に市場へ供給できる体制づくり | |
| 6. 薬局でジェネリック医薬品を確実に選択できる体制づくり | |
| 7. その他(|) |
| 8. 特になし | |

問 32. 最後に、あなたの薬局名等をご記入ください。(記入式)

薬 局 名 : _____

所 在 地 : _____

T E L : _____

F A X : _____

E - m a i l : _____

回 答 者 名 : _____

(薬局用)

その他、後発医薬品についてご意見等がありましたら自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。以上でアンケートは終了です。
内容をよくご確認のうえ、返信用封筒にて送信してください。

〒850-8570 長崎市尾上町3-1

長崎県福祉保健部薬務行政室

担当) 藤井

TEL) 095-895-2469

FAX) 095-895-2574

E-mail) s04740@pref.nagasaki.lg.jp

